

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

SRS CS Autoの設定をする

エフェクトモードでのみ設定できます

SRS CS Auto™とは

Circle Surroundデコーダーによる車載用に特化したサラウンドシステムです。また、センタースピーカーやサブウーファーを使用せずに、5.1 chに相当する音場を再現できます。

1 オーディオチューン画面(P.124)から ◀▶で「SRS CS Auto」を選ぶ



- 選ぶたびに、音響効果が切り替わります。
音の匠↔SRS CS Auto↔DSP↔OFF

2 詳細設定を選ぶ

3 設定する項目を選ぶ

● FOCUS

感覚的に耳の高さから音が聞こえるように設定できます。

● TruBass

低音の強さを設定できます。
サブウーファー使用時は重低音を楽しめます。

● MixToRear

フロントチャンネルにセリフとBGM、リアチャンネルに効果音などが収録されているDVDなどは、後席ではセリフが聞き取りにくい場合があります。Mix To Rearを設定すると、リアスピーカーにフロントチャンネルの成分(セリフなど)もあわせて出力されるので、サラウンドの臨場感を保ったまま、後席でもセリフなどを聞きやすくできます。

お知らせ

- AUDIO OFFや、高音質モードの状態では設定できません。
- 音の匠、DSP、SRS CS Autoを同時に設定することはできません。
- エフェクトがSRS CS Autoのときは、FADE/BALANCEを調整しても効果がありません。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、FADE/BALANCEの設定が有効になります。
- エフェクトをSRS CS Autoに切り換えると、イコライザーは自動的に「OFF」に切り換わり、設定できなくなります。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、イコライザーを設定できるようになります。
- SRS CS Auto設定時にスピーカー設定を調整しても、効果がありません。

4 各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

● FOCUS: 調整範囲: 0~4~8



● TruBass: 調整範囲: 0~4~8



● MixToRear: 調整範囲: 0~4~8



DSPの設定をする

エフェクトモードでのみ設定できます

1 オーディオチューン画面(P.124)から ◀▶で「DSP」を選ぶ



- 選ぶたびに、音響効果が切り替わります。
音の匠↔SRS CS Auto↔DSP↔OFF

2 ◀▶でサラウンドを選ぶ



- H A L L : コンサートホール風の音場
- STADIUM : スタジアム風の音場
- CHURCH : 教会風の音場
- L I V E : ライブハウス風の音場

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- 音の匠、DSP、SRS CS Autoを同時に設定することはできません。

車速連動音量を補正する

車両が走行する速度に連動してオーディオの音量を自動的に補正します。

オーディオチューン画面(P.124)から 車速連動VOL補正の程度を選ぶ



- HIGH (補正大) MID (補正中) LOW (補正小) OFF (補正なし)

より自然な音で聞く (ビット・周波数拡張)

高音質モードでのみ設定できます

音源を補完して、より自然な音で再生します。

オーディオチューン画面(P.124)から ビット・周波数拡張 ONを選ぶ



- ビット・周波数拡張がONになります。
- OFFを選ぶと、設定が解除されます。

お知らせ

- 音源によっては、効果(音の変化)を感じ取りにくい場合があります。
- 車両の状態や環境によっては、効果(音の変化)を感じ取りにくい場合があります。
- ハイレゾ音源のBlu-ray Discを再生するときは、余分な信号が音質に影響を与えないよう「OFF」にしてください。
- オーディオが交通情報の場合は、設定できません。

Gracenoteをアップデートする

1 オーディオチューン画面(P.124)から gracenoteを選ぶ



2 Gracenoteをアップデートする

■ 定期更新→P.114

■ ローカルアップデート(定期更新)を選ぶ

■ 個別更新→P.115

■ カスタムアップデート(個別更新)を選ぶ

■ データベースの初期化

初期化▶はい▶はいを選ぶ

● ローカルアップデート・カスタムアップデートの内容がすべて削除されます。